

当院における過粘稠性 *Klebsiella pneumoniae* による肝膿瘍
に関する臨床データの研究利用についてのお願い

研究の概要・背景

過粘稠性 *Klebsiella pneumoniae* は、眼内炎な他臓器に転移性感染症を引き起こす侵襲性肝膿瘍症候群により失明や、全身状態悪化により致命的となったり、治療抵抗性のため手術が必要となる症例も見られる疾患であり、当院における過粘稠性 *Klebsiella pneumoniae* による肝膿瘍について後方視的に検討します。

試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）

当院で治療を行った侵襲性 *Klebsiella pneumoniae* による肝膿瘍に対して、カルテを参照して肝膿瘍の形態と合併症、治療方法、治療期間につき検討を行い、侵襲性 *Klebsiella pneumoniae* の特徴を明らかにすることを目的とします。

対象者・期間

2018年11月から2024年2月までに長岡赤十字病院にて治療を行った過粘稠性 *Klebsiella pneumoniae* による肝膿瘍 17症例を対象とします。

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院

担当医師：吉川成一

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)